

～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 32

令和4年 6月24日発行 袋井市幼児教育センター

遊びの中で言葉による伝え方を学びます



大人の言葉の掛け方など聞いて学ぶことは、自分たちで問題を解決する力につながります(5歳児の様子)

子どもたちは、身近な大人や友達と心を通わせる中で、豊かな言葉や表現を身につけていきます。また、経験したことや考えたことを人に伝えたり、聞いたりする中で、言葉のやり取りの楽しさや難しさを学びます。

このような経験を繰り返すことで互いに気持ちや考えなどを伝え合う力が育ちます。

袋井の幼児教育で育成する力

生活習慣	(1) 自立心
	(2) 道徳性・規範意識の芽生え
	(3) 健康な心と体
	(4) 社会生活との関わり
学びに向かう力	(5) 自然との関わり・生命の尊重
	(6) 言葉による伝え合い
	(7) 協同性
基礎となる表現力	(8) 思考力の芽生え
	(9) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
	(10) 豊かな感性と表現



思いを言葉にしたことで、遊びがより楽しくなります(4歳児の様子)



思いを受け止めてもらえると安心します(2歳児の様子)

☆小学校生活では、

新しい環境や教科等の学習に興味や関心をもって主体的に関わり、考えたことや思ったことを自分なりの方法で試したり、友達に伝え合ったりする姿につながります。

本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。袋井市教育委員会幼児教育センター86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>

